

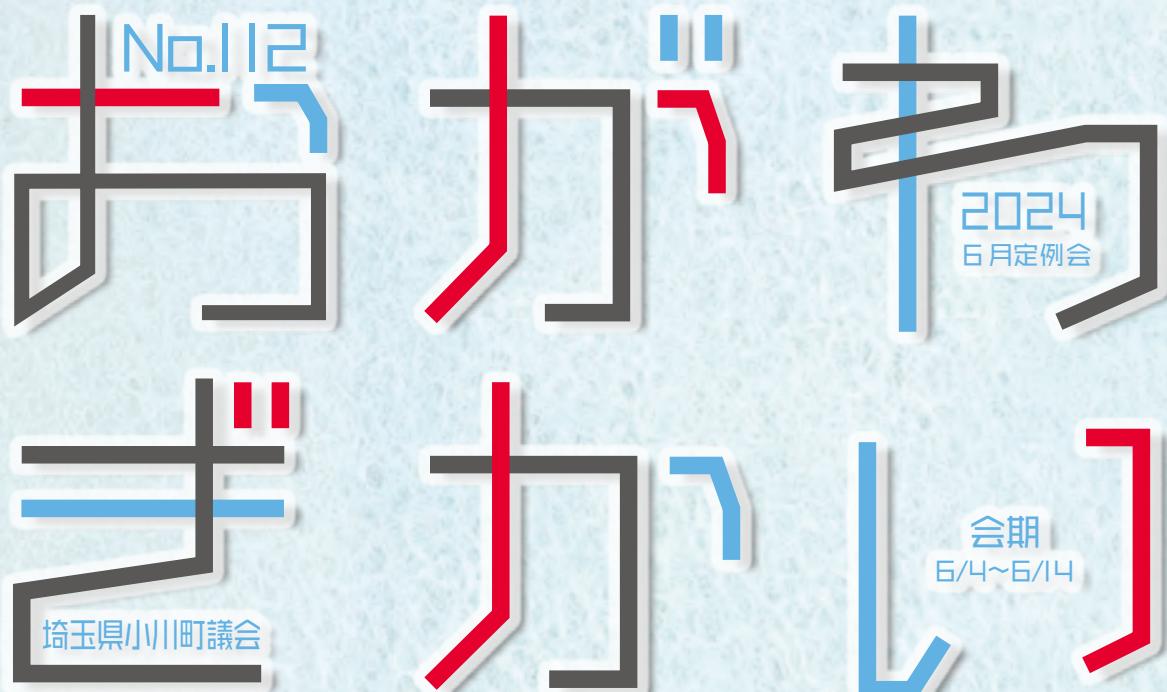
表紙に使用している画像は小川和紙の「落水紙」です。春雨が落ちたような小さな穴のあいた薄い和紙で、光を通す障子紙やランプシェードなどに使用されます。和紙に合わせてあしらった2色は空色と唐紅色。真夏のプールとスイカをイメージした色を表現しました。

P.2-3
充実の
調査研究レポート
**活性化する
3常任委員会**
課題解決に向け前進!

P.6-7
待ったなし!
着々と進む?
公共施設等の総合管理計画
**令和7年度
リリック
ホール棟
解体へ!**



—移住4年目—私たちの「宝物」(裏表紙に関連記事)



わたしのひとコト

自然環境や伝統文化を大切に守っている小川町が誇りです。
千野和美さん

町民の声
「聴きます×つなぎます」

議会の活性化も進みつつあるようです。期待して見守りたい!
野村勇一さん

P.16

**活性化に向けて
「進み続ける議会」**

**プレ地区懇談会の
開催へ踏み出す**

16人の一歩!!

課題解決に向け前進！持続

可能なまちづくりへの歩み!!

今任期初めてとなつた常任委員会による調査研究の取組。委員会ごとに町の事務事業等から課題をピアリング・フィールドワークも。改選後、フレッシュなメンバーを中心に組織された各常任委員会では、

●総務常任委員会

テーマ 公民共創による持続可能な公共施設の利活用



●厚生文教常任委員会

テーマ ライフステージに応じた「スポーツ機会の創造」と「健康づくりに資する環境整備」

★先進地視察★

長野県飯綱町「いいづなコネクトWEST」

総務・厚文共通

施設概要

「自然・スポーツ・健康」をテーマに学校再編で廃された旧小学校を再整備。人工芝のグラウンドやジム、体育館、食堂、宿泊機能などを有する。運営は、地元を拠点とするまちづくり会社「カンマツセいいづな」が担う。

ポイント1 地元検討組織の「将来プラン」に基づく整備と運営で住民利用が増加。

ポイント2 関係人口の創出に「飯綱町合宿等誘致事業補助金」を設けて施設利用を後押し。

ポイント3 人工芝のグラウンド整備でサッカーリーグ所属AC長野パルセイロの事業誘致に成功。

複合施設に生まれ変わった旧牟礼西小学校

総務 調査研究のまとめ

今後も進む町立学校の再編に伴つた「学校跡地の利活用」は、喫緊の課題である。また、廃校が予定される八和田小・東中は、いずれも市街化調整区域にあるため、民間活力の進出に不安が残る。当委員会としても、住民ニーズの把握に努め、アセットマネジメントの観点や関係法令を精査し、持続可能で特色ある施設となるように、今後も注視していく。

厚文 調査研究のまとめ

改めて実感した「スポーツに親しむ意義と健康の尊さ」を多くの町民にPRするため、今後も関連事業やイベント等へ積極的に参加していきたい。また、長年の懸案である総合運動場敷地内に有する野球場予定地の取扱いや、総合体育館の有無など、スポーツ環境におけるハード面の整備・課題についても、引き続き研究に努めしていく。

高橋 若い2人に負けないように、私ももっと頑張らなくちゃ！2年目も「女性の視点・観点」を大切に、実り多い取組を目指していくわ。

稲村 私も「移住者パワー」で頑張ります！特に多くの皆さんに期待している「道の駅リニューアル事業」を所管する委員会として、頑張りたいです。

高瀬 2人とも、やる気満々ですね。私は…「消滅可能性自治体」の根拠とされた「若年女性」にフォーカスし、様々な角度から調査研究に励みたいですね。

見出し、テーマを設定する。課題解決に向けたアプローチは様々で、先進地視察や担当課等への新たな視点や手法で調査研究に励み、委員長のもとで充実の「報告書」がまとめられた。

●経済建設常任委員会

テーマ 地域に根差した特色ある魅力的な商店街の取組と小川町駅周辺の活性化

★先進地視察★ いわむら だ ほんまち

長野県佐久市「岩村田本町商店街振興組合」

概要

かつて中山道22番目の宿場町として栄えた商業の町。長野冬季オリンピック（平成10年）を機に大型店舗が進出し「売上80%ダウン」の憂き目にあう。当時、平均年齢38歳の日本一若い商店会役員で構成する同組合が誕生。「日本一」を冠した様々なイベントを企画・運営してきた。

ポイント1 右手にそろばん、左手はコミュニティの担い手をコンセプトに商店街の存続を図る。

ポイント2 空き店舗を活用し「本町おかげ市場」などを展開。

ポイント3 全国初となる商店街直営学習塾「岩村田寺子屋塾」等の運営。



調査研究のまとめ 「ローカルファースト」の考え方を共有し、商店街が活性化する目的やコンセプトを明確に示すことで、地域に根差した（必要とされる）持続可能な商圏が生まれる。そのためにも、まずは住民が地元商店街に「何」を求めているかをしっかりと把握することが重要と捉えている。当委員会としても引き続き、商工会や各商店会等と意見交換・情報共有を図り、連携強化に努めていく。

地域を優先的に考え、文化や歴史などの資源を大切にし、持続可能な地域社会を形成していくこと

対談

3常任委員長が振り返る～今任期1年目の取組～



総務:高橋
厚生文教:高瀬
経済建設:稲村

決意を新たに
「エンジン全開」の3常任委員長！

高橋 コロナ禍では行きづらかった「先進地視察」なども増えてきて、充実した委員会活動ができたと思います。

稲村 議員経験も少ない中で「委員長」の大役を受けました（汗）。2人の先輩委員長をお手本に、必死に駆け抜けた1年です（汗汗）。

高瀬 久しぶりの「厚文」で感じたことは、やっぱり「守備範囲」が広くて大変だということ。福祉サービス全般から生涯学習・学校教育まで…改めて、日々勉強です！

高橋 引き続き2年目も、町の様々な課題の解決に向けて協力していきましょうね！

稲村・高瀬 御意！！×2





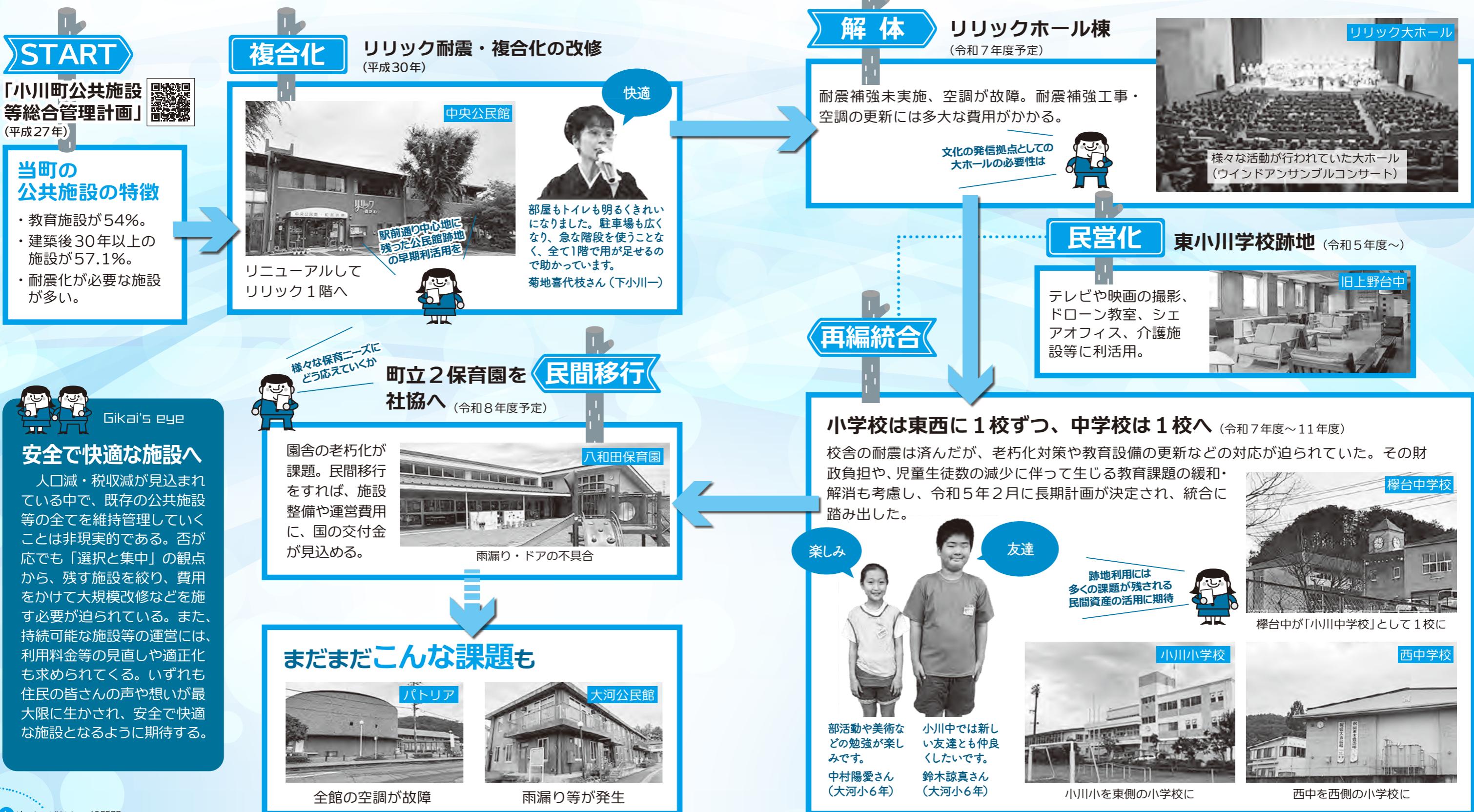
～全国各地で進行する公共施設等の老朽化～

待ったなし！着々と進む？

公共施設等の総合管理計画

当町に90あまりある公共施設の維持管理には、多額の費用が見込まれている。計画に示された公共には、民間資産の活用や近隣自治体との広域連携・共同運用など、様々な手法が求められる。平成

施設等のスリム化はどの程度進んできたのか。一方で、各施設等が有する機能やサービスの維持向上27年3月(令和4年改訂)の策定から節目の10年となる取組を振り返り、その進捗を見ていく。





AQ 職員を取り巻く環境は、
総務課長 社会情勢が著しく
変化する中、町民の行政に対する
要望や期待は、一層、多様化・複
雑化・高度化しています。特に必
要な対応として「人材の確保と育
成」「労働環境の向上」と考え、
改善に取組む必要があると捉えて
いいます。今後も快適に働ける環境
づくりに努めます。

Q 職場のメンタルヘルス対策の
現状と組織的な対応は。

A 総務課長 職員がメンタルヘル
ス不調に至る要因は様々であり
人事担当のみならず、産業医、安
全衛生委員会等が連携した全
面的な体制を確保することで、また、
メンタルヘルス不調の各段階に応
じて対応することが重要であると
考えます。



火災拡大を防ぐ屋内消火栓の適正管理を



役場の環境

おかべひさし
岡部久志議員
が町に問う！

AQ 消防設備の不備等への対応は、
学校教育課長 当町の小中学
校は、老朽化した校舎も多く、消
防設備も経年劣化しています。過
去には改善までに数年要したこと
もありましたが、校舎の修繕と併
せ消防設備も児童生徒の安全のた
め、しっかりと対応します。

答弁 快適に働ける環境を
づくりに努めます



街の活性化

かさはらのりひろ
笠原規弘議員
が町に問う！

Q 道の駅のリニューアルは、当
町の魅力を伝える絶好のチャンス。
町内飲食店等の機運は、本当に高
まっていると言えるのか。

A (にぎわい創出課長) 道の駅の
事業者向け説明会にて、道の駅を
起点とした町全体の活性化を図つ
ていく方針を伝えました。道の駅
再整備が、事業の拡大・発展のチ
ヤンスであることを理解してもらえ
たものと捉えています。

答弁 町全体の活性化へ
の方針を伝えました



費用は全額寄付金で成り立っています

暑い日が予想される日は、
早朝や夕方に用事を済ませ、
日中は屋内で過ごします。
(S・Mさん 71歳)

出かける前に日焼け止めを塗つ
て、日傘を持ち歩いています。
あとアイスを食べること!!
(K・Hさん 18歳)

11の視点 一般質問

全質問項目は小川町ホームページから見られます。議会だよりでは議員ごとに
要約版で掲載。全文（会議録）は令和6年8月下旬に公開予定です。



「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言を交えて町に考えを質す。
新しい副町長を迎えて臨んだ初めての定例会。鋭い質問の数々に、的確な答弁も。各議員のカラーが映える一般質問を取り上げます。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



| | | | | | | | |
|------|-------|---------|-------|------|------|-----|-------|
| P.13 | P.13 | P.12 | P.12 | P.11 | P.10 | P.9 | P.8 |
| 学校再編 | 台風19号 | 東小川学校跡地 | 消滅自治体 | 帶状疱疹 | 公共交通 | 道の駅 | 街の活性化 |



Q 環境省は「熱中症特別警戒アラート」の運用を開始した。他の
自治体では、公共施設にクーリング
シエルターの設置を進めている
が、当町の考えは。

A 健康福祉課長 極端な高温が
もたらす熱中症のリスクから、町
民の命と健康を守ることの重要性
を総合的に判断し、クーリング
シエルターの設置に向け、具体的
な検討を進めています。

Q 热中症特別警戒アラートが発
令された場合の町民への周知は。
A 健康福祉課長 従来の「熱中
症警戒アラート」の発令時と同様
に「防災行政無線」や「おがわ情
報メール」での対応を想定してい
ます。一方で「熱中症特別警戒ア
ラート」が発令される場合には、
まだ経験のない極端な高温から
町民の命と健康を守るために周知を
進めます。



ココットの1室もクーリングシエルターに

● その他の質問
将来を見据えた公民館の在り方
ホームページのリニューアル
の開放に関する情報提供と併せ、
迅速かつ適切な周知に努めています。

Q 町民の命と健康を守るための周知
が求められます。身を守つてもら
うための適切な呼びかけを工夫す
るとともに、クーリングシエルター
の設置に関する情報提供と併せ、
具体的な検討を進めています。

Q 热中症特別警戒アラートが発
令された場合の町民への周知は。
A 健康福祉課長 従来の「熱中
症警戒アラート」の発令時と同様
に「防災行政無線」や「おがわ情
報メール」での対応を想定してい
ます。一方で「熱中症特別警戒ア
ラート」が発令される場合には、
まだ経験のない極端な高温から
町民の命と健康を守るために周知を
進めます。

私の
暑さ対策
Vol.26

Mini Interview P13までつづきます！
オガワマチのこと・ギカイのこと
「一緒に見よう、考えよう」



固定資産の取り壊し・廃棄等を行うこと。
「解体」とほぼ同意語で、主に帳簿等の処理に使用されます。

小川町議会だよりは

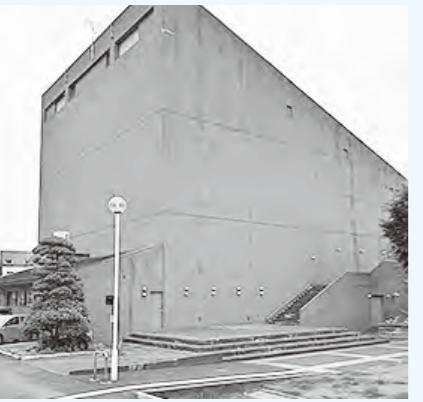
写真にコダワル！

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション（写真説明）も工夫します。

Q 当初の計画は30年間で町の施設等を40%縮減するとあつたが。
A 政策推進課長 平成27年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」では、人口減少や財政負担等を踏まえ、30年間で施設総量を40%削減するとしていました。個別施設計画や小中学校再編を踏まえても、公共施設の維持管理に年間2億9000万円の財源不足が生じる見込みです。そこで、削減目標を58%に再設定しました。

Q 再編等で空いた施設・跡地についての考えは。

A 政策推進課長 施設の状況により民間譲渡や除却を含め利活用について検討します。検討に当たっては、公共施設の全体の在り方や、地域住民の意向を踏まえ進めます。



「リリック大ホール」解体後の早期活用を

Q 2園の町立保育園の民間移行については、令和8年度から社会福祉法人への移行が示された。建屋等についての今後の考えは。

A 子育て支援課長 民間保育園の場合は、施設整備や運営費用に国庫の交付金が充てられます。園舎の改修・新築や場所等については、社会福祉協議会と慎重に検討を重ねてきます。

Q 管理計画の進捗と今後は再設定しました

A 答弁 削減目標を58%に再設定しました

Q 予防にはワクチン接種が有効であるとされているが、費用の高さなどから接種を諦める人も少なくない。当町でも、比企医師会から助成に関する要望書（令和4年10月）が提出されているが、考えは。

A 健康福祉課長 現在、任意接種である帯状疱疹ワクチンに対する助成制度はあります。では助成を開始した自治体が増加傾向にあります。国の動向や近隣自治体の情報把握に努め、事業化の可能性を研究していきます。

Q 深谷寄居医師会の試算では、罹患した際の平均医療費と国保の保険者負担を考慮すると、早急に実施したほうが最終的に財政の節約につながると考えるが。

A 健康福祉課長 あくまでも国



帯状疱疹発症リスクに負けない健康づくり

Q ワクチン接種への助成を

A 答弁 可能性を研究しています

水分に加えて、毎日朝食で梅干しを食べます。
(G・Mさん 60代)

ぬれたタオルを室内に干し、エアコンの効果を高めています。
(M・Cさん 70代)

つづく！

Q デジタルトランスフォーメーション。直訳すると「デジタル変革」。デジタル技術を用いて人々の生活をより良いものへと変革すること。

Q ブロックチェーン技術によって実現した分散型インターネットのこと。ブロックチェーンとは、ブロックと呼ばれる単位でデータを管理し、鎖（チェーン）のように連結して保管し、取引履歴などを監査する技術のこと。

Q 当町のDX **①** 推進への基本的な考え方は。

A 政策推進課長 町民の利便性向上、行政事務の効率化のため、DX推進を図っているところです。今年度の取組は、紙にようす電子による調査・申請・届出手続きができる仕組みの導入を進めています。

Q Web3・0（ウェブスリー）について、町の計画は。

A 政策推進課長 再整備を進めている道の駅で、Web3・0を活用したデジタル会員証の導入を検討しています。この会員証で公共施設等の利用で特典を得られる等を想定し、町民はもとより町外からのリピーターを確保し、道の駅の話題づくりにもつなげたいと考えています。

Q DXによるEBPMの取組は。

A 答弁 利便性の向上や効率化のため推進します

A 政策推進課長 EBP（エビデンス・ベースト・ポリシー・マイキング）とは客観的な証拠に基づいて政策を策定する手法のことです。DXの推進等により、データが生成され、活用することで行政の効率化・高度化が図れると捉えています。これまで地域経済データや人口統計データ等の利活用に努めています。

Q 手漉き和紙体験に加えて、和紙を使っての作品作り体験（ミニメイキング）とは。手漉き和紙工房に加え、工作スペースや多目的スペースを設けます。スや多目的スペースを設けます。管理運営候補者と協議し、従来より幅広い体験メニューの構築に努めています。

Q 団体利用への働きかけと、昼食のあつせんや和紙体験の実施は。

A にぎわい創出課長 これまでも小川町観光協会、東武鉄道、JR東日本、埼玉物産観光協会などの交通・旅行・観光事業者と連携し、様々な企画を実施してきました。そうした民間事業者のノウハウを生かし、団体客の受入れ拡大を図ります。

Q 町なかへの周遊・魅力づくりは。

A にぎわい創出課長 町内の魅力的な観光資源にどう誘導するかが、町の活性化には重要であると認識しています。スマートフォンや道の駅からの電動自転車・電動トウクトウクの駐車場所の確保も検討しています。商店会などと連携し、町全体のにぎわい向上を図りたいと考えています。

Q 町活性化への期待が膨らむ

エアコンのフィルター掃除。同じ設定でも風量が増え、節電にもなって、一石二鳥。
(I・Hさん 62歳)

打ち水と風鈴です。夕方に打ち水をして、風鈴の音色は、心まで癒してくれますね。
(Y・Sさん 65歳)

Q 当町のDX **②** 推進への基本的な考え方は。

A 政策推進課長 町民の利便性向上、行政事務の効率化のため、DX推進を図っているところです。今年度の取組は、紙にようす電子による調査・申請・届出手続きができる仕組みの導入を進めています。

Q Web3・0（ウェブスリー）について、町の計画は。

A 答弁 利便性の向上や効率化のため推進します

A 政策推進課長 EBP（エビデンス・ベースト・ポリシー・マイキング）とは客観的な証拠に基づいて政策を策定する手法のことです。DXの推進等により、データが生成され、活用することで行政の効率化・高度化が図れると捉えています。これまで地域経済データや人口統計データ等の利活用に努めています。

Q 手漉き和紙体験に加えて、和紙を使っての作品作り体験（ミニメイキング）とは。手漉き和紙工房に加え、工作スペースや多目的スペースを設けます。スや多目的スペースを設けます。管理運営候補者と協議し、従来より幅広い体験メニューの構築に努めています。

Q 団体利用への働きかけと、昼食のあつせんや和紙体験の実施は。

A にぎわい創出課長 これまでも小川町観光協会、東武鉄道、JR東日本、埼玉物産観光協会などの交通・旅行・観光事業者と連携し、様々な企画を実施してきました。そうした民間事業者のノウハウを生かし、団体客の受入れ拡大を図ります。

Q 町なかへの周遊・魅力づくりは。

A にぎわい創出課長 町内の魅力的な観光資源にどう誘導するかが、町の活性化には重要であると認識しています。スマートフォンや道の駅からの電動自転車・電動トウクトウクの駐車場所の確保も検討しています。商店会などと連携し、町全体のにぎわい向上を図りたいと考えています。

Q 町活性化への期待が膨らむ

Q 和紙での体験道の駅

A 答弁 幅広いメニューの構築に努めます

A にぎわい創出課長 町内の魅力的な観光資源にどう誘導するかが、町の活性化には重要であると認識しています。スマートフォンや道の駅からの電動自転車・電動トウクトウクの駐車場所の確保も検討しています。商店会などと連携し、町全体のにぎわい向上を図りたいと考えています。

Q 和紙での体験道の駅

A 答弁 幅広いメニューの構築に努めます

打ち水と風鈴です。夕方に打ち水をして、風鈴の音色は、心まで癒してくれますね。
(Y・Sさん 65歳)

たなかてるこ 田中照子議員 が町に問う！

たばよしなり 田端良成議員 が町に問う！

やまくちかつし 山口勝士議員 が町に問う！

やまくちかつし 山口勝士議員 が町に問う！

打ち水と風鈴です。夕方に打ち水をして、風鈴の音色は、心まで癒してくれますね。
(Y・Sさん 65歳)

般質問

東川学校跡地



UECHUの現状と今後は

答弁 入居事業者等との交流で活性化につなげます

Q オープンから1年、UECHU（ウエチュウ）の現状と今後は。
A 政策推進課長 サテライトオフィスと固定ブースは全て人居し、コワーキングエリアはまだ空きがあります。レンタルキッチンは会員が28組となり、日替わりでカフェや子育てサロン等として活用され、地域の方も利用しています。今後は、入居事業者と地域住民との交流事業や、地域おこし協力隊による活動を通して人の流れをつくり、町の活性化につなげます。

Q UECHUを使って住民同士が交流できる可能性は。

A 政策推進課長 カフェやレンタルキッチンの利用、地域活動での共用スペースや未活用教室の活用を進めていきます。

Q 今後の展開は、子育て支援課長 子ども食堂や学習支援の場などについて、拡大強化を図っていきます。また、児童の居場所として、どのようなニーズがあるか検証していきます。

● その他の質問
高齢者の移送サービス



いよいよ高齢者施設が着工する旧校庭

消滅自治体



答弁 持続可能なまちづくりを継続していきます

Q この発表に対して、町民への発信の中で、町の考え方と対応策を伝える事が大切だと考えるが。A 政策推進課長 10年前のレポートと比べて「改善」との分析もありました。将来推計の結果の一つとして捉えるとともに、これまで行ってきた持続可能なまちづくりを継続していきます。

Q この地に暮らす人が、幸せに暮らせる場所づくりを考え、近隣自治体と連携して、人口減に対するまちづくりをするべきでは。

A 政策推進課長 それぞれの自治体が持つ特色を生かせるように連携していきます。また、効果的な情報発信に努めます。

Q 町の取組を発信し、人口流出の抑制や移住者増へつなげては、その一つとして「ゼロカーボンシ

ティ宣言の町」として住環境のよさにつながる施策を示しては。A 環境農林課長 2030年度までに基準年度比で40・2%削減する目標になつている温室効果ガスですが、2023年には、37・73%を達成しています。今年度も引き続き「ゼロカーボン推進補助金」の取組を進めるとともに、効果的な情報発信に努めています。



ゼロカーボンにつながる家庭用EV充電設備

町の考え方と今後の取組は



答弁 持続可能なまちづくりを継続していきます

台風19号

たなかたつお
田中立男議員
が町に問う！

Q 令和元年10月12日から13日の東日本縦断の台風19号から4年7か月が経過した。町内の越水箇所はいくつあったか。

A 防災地域支援課長ほか 越水は楢川で15か所、兜川と市野川において各1か所を把握しています。

Q 土砂の堆積で、川底が上がりてしまふなどの要因が考えられるが、主な越水の要因は。

A 建設課長 川に急激な曲線があることや、山林の荒廃による土砂や倒木の流出等が要因と認識しています。

Q 補修工事はどこまで行われたのか。

A 建設課長 護岸の補修工事など楢川で19件・兜川で6件・市野川で2件・新川で1件等となっています。

Q 令和元年10月12日から13日の東日本縦断の台風19号から4年7か月が経過した。町内の越水箇所はいくつあったか。

A 防災地域支援課長ほか 越水は楢川で15か所、兜川と市野川において各1か所を把握しています。

Q 土砂の堆積で、川底が上がりてしまふなどの要因が考えられるが、主な越水の要因は。

A 建設課長 川に急激な曲線があることや、山林の荒廃による土砂や倒木の流出等が要因と認識しています。

Q 補修工事はどこまで行われたのか。

A 建設課長 護岸の補修工事など楢川で19件・兜川で6件・市野川で2件・新川で1件等となっています。



激甚化する水害への備えを

学校再編

かさはらひでのこ
笠原英彦議員
が町に問う！

Q 小中学校再編後の跡地利用のスケジュールは。

A 政策推進課長 現在、施設における課題や今後の進め方等を関係課にて協議しています。

Q 当該地域に住む町民の声はどの程度届くのか。

A 政策推進課長 長きにわたつて地域の皆さんに親しまれ、地域に根差した施設ですので、意見を聞きながら検討を行つてきます。

Q 竹沢小学校施設利活用について、文化財の保管及び展示場開設の要望について考えます。

A 生涯学習課長 現在、文化財はうちか所で保管しているので、1か所にまとめるとは理想と考えます。また、文化財の公開・活用の場の創設は、後世に残していくためにも重要であると捉えています。

Q 小中学校再編後の跡地利用のスケジュールは。

A 政策推進課長 現在、施設における課題や今後の進め方等を関係課にて協議しています。

Q 当該地域に住む町民の声はどの程度届くのか。

A 政策推進課長 長きにわたつて地域の皆さんに親しまれ、地域に根差した施設ですので、意見を聞きながら検討を行つてきます。

Q 竹沢小学校施設利活用について、文化財の保管及び展示場開設の要望について考えます。

A 生涯学習課長 現在、文化財はうちか所で保管しているので、1か所にまとめるとは理想と考えます。また、文化財の公開・活用の場の創設は、後世に残していくためにも重要であると捉えています。



文化財を後世に伝える施設(竹沢小)

Q 今後の進め方等を関係課で協議しています

A 町長 町の宝は豊かな自然であります。それを著しく破壊する開発行為や地元住民の同意を得られない開発は、賛成できません。また、この地域の町有地の貸出や払い下げはしません。

A 町長 町の宝は豊かな自然であります。それを著しく破壊する開発行為や地元住民の同意を得られない開発は、賛成できません。また、この地域の町有地の貸出や払い下げはしません。

首掛け扇風機を使用しています。涼しい両手が使って便利です。(M・Kさん 48歳)



夏休み中は「じいじばあば保育園」で1日中プール遊び。(T・Tくん 8歳)



甘酒としそジュースを作り、毎日飲んで、質のよい睡眠と朝食をしっかり食べています。(I・Mさん 60代)



毎朝午前2時～3時、真夏でも涼風に深呼吸をして2万5000歩以上歩くと最高の気分。(T・Kさん 90歳)



小川町議会だよりは

キャプション(写真説明)にコダワル!

単なる説明ではありません。応援や問題提起など「魂」を込めてお伝えします。

議員倶楽部から

細川紙のユネスコ無形文化遺産登録「10周年」 小川和紙のさらなるPRに一歩!

小川和紙製 議員バッジ

子供議会時に「子供議員バッジ」の制作を依頼した和紙作家・中島知子さんに相談し、小川和紙製の「議員バッジ」を新調。そのでき栄えの高さに一同感涙。

これからも議会は「和紙のふるさと小川町」を世界に発信していく。



2つのバッジをつけ議場へ

第76回小川七夕まつり 議会の竹飾り



和気あいあいとくす玉用の花作りに取り組む議員

ひと月以上も前から準備を進め、2年振りに「議会の竹飾り」を立てた第76回小川七夕まつり。和紙産業の振興と町民の幸せを願って結った短冊の数々。

これからも議会は「和紙のふるさと小川町」を盛り上げていく。

議員は学び続け、議会は討議し結論を出す 議長 高橋 功人

コロナ禍を乗り越えた3常任委員会は、町の現状と課題を把握するためスピード感を持って学びを進めている。

町民の声を聴く場「地区懇談会」を設けることについては、来年早々に方向性を出す。第2の課題は「議員定数の見直し」である。議会として、責任を果たす「定数」を根本から見直したい。

また、議員間討議を続ける過程で、埼玉県町村議長会へ「①環状1号線の早期開通と延伸 ②学校給食費の無償化に向け国へ要望」の2つの要望事項を提出した。



議会運営委員会から

議会主催の(仮称)「地区懇談会」 令和7年1月の プレ開催に向けて一歩!

去る4月24日に、議長が議会運営委員会に対し、(仮)地区懇談会の開催に係る「諮問」をした。

「答申」に向けて即応した議運は、早速、調査研究をスタート。令和7年度以降の本格実施を目指し、令和7年1月のプレ開催に向けて取組を加速する。「続報」に乞うご期待!



より開かれた議会に向けて

諮問内容

- ① 地区懇談会の目的
- ② 実施計画
- ③ 住民への事前調査
- ④ 会場・実施回数・規模
- ⑤ 運営方法
- ⑥ 実施後の取組

厚生文教常任委員会から

町社会福祉協議会との「勉強会」 地域包括ケアシステム構築に向けて一歩!

去る5月23日に、厚生文教常任委員会が企画した町社協との勉強会に15議員が参加し、取組の現況を確認・共有した。特に町から受託している「地域包括支援センター」の業務は、高齢者本人や家族等からの相談を一手に引き受けた相談窓口として重要な役割を担っている。高齢化率4割超となつた当町の地域包括ケアシステム構築の要である町社協の取組に「星3つ!」



熱く語る社協の岸田局長

令和5年9月定例会号（No.109）から始まったこのシリーズも4回目を迎えた。意見交換会の合間に先進地や地元公共施設の視察、各種勉強会の開催などを通じて見識を深めてきた。「議会の改革・活性化」の実を上げるべく、これからも全力で取り組んでいく。

